



のほな葛蒲

発行 愛知県立豊橋南高等学校PTA TEL(0532)25-1476 FAX(0532)25-4887
<http://www.toyohashiminami-h.aichi-c.ed.jp/>



ファッションショー (生活デザイン科)



ビュッフェパーティー (生活デザイン科)



卒業制作展示 (生活デザイン科)



EDU3 年 ERP 成果発表会



EDU3 年オンラインで台湾の生徒と交流



第33回「高校生の写真展」
東三河展奨励賞
「想い人」 福井ひづる



第26回全国高校生
クリエイティブコンテスト
特別賞「Je realise mon reve」 河合 慶子



第26回全国高校生
クリエイティブコンテスト
佳作「輝き」 鈴木 優麻

写真協力：大森写真館 写真部

卒業生に贈る言葉

ご卒業おめでとうございます



PTA副会長 藤原 浩 巳

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様が立派に成長され、今日この日を迎えられることを心よりお祝い申し上げます。そして校長先生はじめ先生方におかれましては、子どもたちをここまで温かく導いてくださいましたことを、心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年3月から学校が休業となり、授業が始まったのは5月下旬からでした。授業の遅れを補うために夏休みは2週間に短縮され、全校生徒が体育館に集まることはなくなり、学校ではマスク着用が当たり前風景となるなど、新型コロナウイルスの出現により、今まで我々が普通に行ってきた日常生活が送れなくなり、「新しい生活様式」を取り入れる必要に迫られました。

皆さんが使っているスマホには、2～3カ月ごとにアップデートの案内が届きます。もし無料アップデートを怠れば、きちんと対策を続けている他のメーカーにユーザーは流れてしまうでしょう。「変化や進化に対して常に対応し続ける」、これはOSの世界に限らず、厳しい社会で生き残っていくために必ずやらなくてはならないことです。学校が休業中の時は、先生方がyoutubeで授業の動画を公開するなどして学習が遅れないよう皆さんをフォローしてくださいました。このように学校もアップデートしています。現状維持が良いと思ひ、今まで通りのことをすることは現状維持ではなく「後退」です。世の中は目まぐるしいスピードで変化しています。物事の本質を理解して情報を精査し、勉強し、自分自身をアップデートさせ、普遍性の高い発想の引き出しを増やして時代の変化にすぐに対応できるような大人になって欲しいと思ひます。

4月からは進学、就職などそれぞれの道に進むことでしょう。卒業生の皆さんが南校生としての誇りを持って社会へ羽ばたいて行ってくれると信じています。ご卒業おめでとうございます。

互いに支え合う



校長 森 島 日出夫

突然の一斉休業の通知に学校が揺れてから、早くも1年が経過しようとしている。私は、未だに、一斉休業中の出校日のことは鮮明に覚えている。2ヶ月ぶりの登校。そこには、今後の学校生活や部活動の大会の行方も分からないまま、目の前の現実をどう受け入れたらいいのか困惑してる姿があった。何よりも、心細そうな皆さんの表情を今でも忘れることができない。しかし、学校が再開され、日を重ねる度に、直ぐにかつての表情を取り戻していったのである。やはり、学校は、学びの場であるだけでなく、人が集う場なのだ。そこには、SNSやオンライン上のやりとりでは実現できない人と人の直の交流というものが存在する。五感を通して直に触れる人々の存在は、決して1人だけでは得ることのできない安心感や希望を生み出すのである。それが人が集う意義なのだ。

私たち教員にとっても、経験したことのない一斉休業という事態に、戸惑いと焦りを感じる毎日であった。しかし、出校日が決まっただけというもの、先生方の表情は劇的に変化したのである。嬉々として準備に取り組む先生方の目は眩しいほど輝いていた。久しぶりに生徒に会える。閉塞感に押しつぶされそうだった学校が、命を吹き返したのである。やはり、生徒の皆さんは、私たちの悩みの種ではあるけれども、同時に本当に励みになる存在なのだ、改めて実感した。授業や部活動でのやりとりだけでなく、日常の中で交わされる何気ない会話や、気遣い、そして頑張っている姿に、私たちは背中を押してもらっているのである。だからこそ、心が折れそうになった時でも、私たちは頑張り続けられるのである。

喜怒哀楽、学校はそのすべてにおいて、生徒と教員が相互にぶつかり合い作用しあう場なのである。私たちは互いに接することによって、その輝きを増す。

人は、互いに支え合いながら生きている。そこには、生徒と教員、子供と大人の区別などないのである。

3年 学年団の先生方より

卒業おめでとう!

1組担任 福島 杏子

「3-1っていいね」この1年、多くの先生方からこのような言葉をかけていただきました。みなさんがいつも明るく、何事にも前向きに取り組む姿を見せてきたからだと思ひます。

日々健康で、元気に学校へ来る。礼儀正しくあいさつや返事をする。与えられた課題に真面目に取り組み、遅れることなく提出する。相手に対しての感謝や思いやりの気持ちを素直に表現する。これらは、みなさんが当たり前やってきた事です。当たり前のことを当たり前受け止めて、行動できることは素晴らしいことだと思ひます。

自分に自信が持てない人が多いですが、自分の頑張りを認め、自信を持ち、いろいろなことにチャレンジして行ってほしいです。この先、辛い苦しいこともあると思ひますが、この3年間をやり遂げたみなさんならきっと乗り越えられるはず!

担任として3学年持ち上がったことは、とても貴重で、幸せな日々でした。たくさんの楽しい思い出をありがとう。お互いさらに成長した姿でまた会えることを楽しみにしています。

人生いろいろ

1組副担任 大林 省司

「人生楽ありゃ苦もあるさ」。これはテレビドラマ水戸黄門の主題歌冒頭の歌詞です。これからの人生は、必ずしも順風満帆ではないと思ひます。時には辛く苦しいこともあるでしょう。そんな時こそ、楽しかった思い出や支えてくれた友人や家族の顔を思い浮かべ、自分の道を突き進んで欲しいと思ひます。

皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。お元気で!

卒業おめでとう

1組副担任 柴田 茂登子

「過去は悔やむのではなく、反省するものです。前向きに反省すれば、過去の出来事が教訓となり、素晴らしい未来が開けるはずです。過去の失敗も、挫折も、いやな経験も、全てあなたという人間の肥料となり、栄養となり、根っことなり、あなたを成長させるでしょう。成長を続けるあなたにとって、全てのことは『よかった』ことなのです。」これからの皆さんの人生に幸多かれと祈ります。

That's life!

2組担任 白井俊三

48回生の皆さん、卒業おめでとうございます。この1年を振り返ると、どんな1年だったでしょうか？コロナ感染拡大防止のため、緊急事態宣言の発出により1学期のスタートは6月。一生懸命に取り組んできた部活動では総体予選が中止。楽しみにしていた最後の南高祭は縮小しての実施。そして大学受験はセンター試験から共通テストへと移行。その一つ一つに直面した時、どうして自分たちだけこんな目に遭うんだらうと思ったのではないのでしょうか。でもその一つ一つを受け入れ、工夫し、努力し、今日卒業の日を迎えることができたのではないのでしょうか。

人生なんてそんなもの。山あり谷あり。いい時もあれば悪い時もある。初めて経験することは常にあなたを困惑させることでしょう。思い通りにならないことに遭遇した時、この1年に経験したことを思い出してください。あなたなら乗り越えられるはずですよ。何事にも前向きに。先を明るく見て、あなただけの素晴らしい人生を送ってください。

自分さがしの旅の始まり

2組副担任 古川藤記

卒業おめでとうございます。卒業式では、「東嶺はるか」（われら南高（シンフェイン））を声高らかに心の中で歌ってほしい。3年間の楽しいことやつらいことを懐かしい思い出に昇華させ、旅立つ君たちの逞しさを羨ましく思っています。君たちのひたむきな姿を見るにつけ、自らを顧みることができました。ありがとう。次のステージでは、その逞しさやひたむきさを糧に、よい本や映画、演劇との出会いについて、友と語り合ってください。素晴らしい風景が待っています。コーヒーを飲みながら、旅のはなしを聞かせてください。

卒業おめでとう。そしてありがとう。

3組担任 成瀬拓哉

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。思えば今年度はコロナウイルスに振り回された1年でしたね。みんなが味わった悔しさや、虚しさは計り知れないし、立ち直るのも簡単ではなかったと思います。それでも負けずに歩みを止めなかったみんなのことを僕は本当に尊敬しています。本当にすごい。この世代しか知らない悔しさを糧に、みんなが大人になったときに「最強世代」と呼ばれるような活躍をしてくれることを期待しています。

僕が尊敬する野村克也さんの言葉で、「人生は『人として生まれる』、『人として生きる』、『人と生きる』、『人を生かす』、『人を生む』の5つの意味がある」というものがあります。人との「縁」を大切にしながら「どんな人生を生きたいか」という希望を抱き、豊かな人生を歩んでいってほしいと思います。

最後に、みなさんとは入学から3年間同じ学年で携わることができました。教員人生で担任を持ったのも、修学旅行に行ったのも、卒業生を送り出すのもみんなが最初になります。だから一生忘れません！本当にありがとう！

あせらず、牛のように進モーウ 丑年三月

3組副担任 丸山敬彦

夏目漱石（49歳）が芥川龍之介（24歳）に送った手紙の一節です。「むやみにあせってはいけません。ただ牛のように図々しく進んで行くのが大事です。…根気づくでおいでなさい。世の中は根気の前に頭を下げることを知っていますが、火花の前には一瞬の記憶しか与えてくれません。…牛は超然として押して行くのです。」

自分の道を、牛のようにがまん強く、一歩ずつ前に進んでください。

卒業おめでとう

4組担任 加藤伝智

今年の元日にもまた、高校時代の恩師から年賀状が届いた。そこには数学の図形問題が1題印刷されていた。「解いてみよ。」ということか、〇〇先生らしいと思いつつ、すぐにその問題を解くことにした。いつも元気で優しいお人柄で、その頃から大好きな先生である。別の年にはホノルルマラソンに出場したときの写真を送ってくれた。いつも刺激を与え、やる気を呼び起こしてくれる。

年の初めに懐かしさとともにこれからの生き方をあらためて考えさせられた。人生は学びと挑戦と成長の連続である。学びなくして挑戦も成長もない。失敗することもあるかもしれないが、またそこで学べばよい。さらに社会の激しい変化に対応するために、生涯学び続けなければならないのは言うまでもない。

48回生の皆さん、卒業おめでとう。これから就職、進学と様々な道へ進むが、自分らしく生きていくために何事にも積極的に学んでいってほしい。

皆さんの明るい未来を心から祈っている。

コロナに負けるな!

4組副担任 牧平元康

48回生の皆さん、卒業おめでとう。1, 3, 4, 7組の皆さんへ。みんなの温かく明るい人柄のおかげで1年間楽しく授業をすることができました。今世の中はコロナの影響で自粛の中にありますが、是非新しいことへの挑戦をあきらめないでください。人との出会いを大切に、新たな環境でみんなの個性を伸ばしていってくれることを願います。コロナに負けるな、48回生！

やっぱり「教育は人なり」

5組教育コース担任 本宮伸治

教育コース1期生のみなさん、卒業おめでとう！教育コースの活動で様々な学びや人との出会いがありました。体験を通して物事を多角的に見る力、他者の立場になって考えること、問題解決能力など今後の社会で必要とされる能力を養ってきました。どんな職業に就こうが、結婚して子供ができたときに、今度はあなたたちが未来の子どもたちに「教育」を伝えてください。どんなに科学技術が発達しても、やっぱり「教育は人なり」。私たちは「教育」を通して社会に貢献することを目指してきました。今後の活躍に期待しています。君たちに会えて、とても幸せでした。ありがとう！

最後に私が好きなB'zの歌詞から君たちへ祝辞とします。

♪ Glory Days 二度と戻らない日々 胸をはって ここから歩くよどこかできっと新しい虹を見つめている 君のこと想う また出会える日を想う♪

ご卒業おめでとうございます

5組副担任 笹瀬貴司

ファイト！闘う君の唄を 闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ
なりふりかまわず、汗をかき、一生懸命頑張っている人が好きです。一生懸命頑張っている人を、笑ったり、ばかにしたりする人がきらいです。今後つらいことや苦しいことがあるかもしれませんが、あせらず一歩一歩進んでください。今後の活躍を期待しています。

贈る言葉

6組担任 山田直史

卒業おめでとうございます。2年次から2年間、君達とは楽しい日々を送らせてもらいました。2年次は「しつけ」と「中だるみをしない」、3年次は、「第1志望の進路実現」を目標に、時には厳しく接してきました。コロナ禍で例年とは違う授業・学校行事でしたが、大人への成長を願う親の視線で、暖かく見守ってきました。今、この卒業式を迎えて、改めて人間的に成長して立派になった君達を誇りに思います。

さて、明日からは自分で選んだ道が待っています。「夢」の実現に向けて、一步一步前へ進んで下さい。まだ、自分の「夢」が描かれていない人は、次の進路先で「夢」を見つけて下さい。努力したことは必ず報われます。さらに成長した君達に社会人としてまた会いたいですね。母校へはいつでも遊びに来て下さい。今後の活躍を期待しています。

「哺乳類は再び繁栄するか？」

6組副担任 伊藤悟良

中生代、哺乳類は恐竜の影に怯えながら、草木の陰でじっと耐え忍んでいたようだ。小惑星の衝突が原因かどうかは知らないが、恐竜が突如絶滅し（本当は違うが）、チャンスが巡って来るや否や、哺乳類は地球上で大繁栄し、遂に人類を生み出すに至った。今や、我々がコロナの影に怯えている。コロナ後、恐竜の道を歩むか、再び繁栄を手にするか、今の過ごし方次第だ。じっと力をためよう。

commencement 「別れは会うの始まり」

7組担任 山本和彦

皆さんと出会ったのは約2年前に第2学年の担任として学年に配属された時です。しばらく担任の仕事からは遠ざかっていたので非常に不安を感じたものでした。しかし拝命したからには一大決心をして担任業務に邁進することを心に誓ったことを思い出します。それから2年の間、担任として苦心したことや悩んだことは多々あったもののそれなりに楽しませてもらいました。それと、生徒諸君から学ばせてもらうことも数多くあり、生産的な日々を送らせていただいたことに深く感謝しています。

卒業式が近づくにつれて皆さんと別れることに一抹の寂しさが春の息吹のごとく芽生えてきました（本心）。こんな時にいい言葉があります。それは「会うは別れの始まり」ではなくて反対の「別れは会うの始まり」です。卒業式を英語でcommencement（始まり）と言うのは卒業を終わりととらえるのではなく何かが始まるととらえる考え方です。皆さんは4月からそれぞれ異なった道で何かを始めることでしょう。各々の道で頑張ってください。また逢う日まで。

「必要でないこと」≠「無駄なこと」

7組副担任 鈴木唯史

栄養剤だけでは人の健康は保てないよ。と何かの時にお話ししたと思います。「必要な経験」「不必要な経験」、数多くしてください。今は何気なく行っていることが、将来の自分に大きな、場合によっては人生に関わる影響を与えることは、案外、多くあります。どんなことにも真摯に前向きに。道を必死で歩き続けて、ふと振り向くと思いもかけない素敵な景色が広がっている、そんな旅を続けてください。

そつぎょうおめでとう

学年副担任 長谷川国男

南高校で通算10年。うち6回3年を担当した。必死に勉強して自分の進路を実現しようとする姿を見ながら、そこに明らかな人間的成長や頼もしさを感じたものだった。本当に何ができるか、何が身についているかがこれからも厳しく問われていく現代。自分の力で自分の未来を切り開く気概を忘れないでください。何はともあれ、そらはあおつとにみしゆめ ぎん色で よき旅立ちと うれしく思う

新たな場所で

学年副担任 坪倉正樹

3年生の皆さん、1年間図書館を利用させていただいてありがとうございました。「読書は頭のためだけでなく、良い人間になるための作業である。読む努力が想像力を高め、他者を理解するのに役立つ」また、本にはそれを書いた作家の考え方や思いやりが詰まっており、読書を通して様々な知識や考え方に触れることができます。これからも、たくさん素晴らしい本と出会って下さい。



3年各クラスより

3-1 3の1しか勝たん



福島杏子先生
大林省司先生 柴田茂登子先生

私たち3年1組は3年間クラスが一緒ということもあり、どのクラスよりも仲がいい自信があります。1年生の頃、女子だけのクラスに不安でいっぱいでしたが、今ではソーシャルディスタンス不可能くらい友達以上の関係を築きました。そんな私たちの大好物はソフトバレーです。雨が降るおまじないを何度唱えたことか…。○林先生に何度駄々をこねたことか…。それくらい私たちはソフトバレーを愛し、ソフトバレーに愛されたおなご達、38名です。

きゅうりの半月切りから始まった調理実習。今ではフルコース、おせち料理、世界の料理を作れるようになりました。被服では、ロックミシンという名の機械に泣かされる日もありましたが、ワンコーダや浴衣を1から制作できるほど、成長することができました。その背景には、いつでも親身に教えてくれる河合先生、厳しい裏に優しい笑顔のある仲先生、可愛い笑顔で接してくれる竹下先生、豆知識を教えてくれる茂登子先生、楽しい話で和ませてくれる大林先生、何より1番お世話になったのは、3年間私たちのことをよく考え、厳しく優しく寄り添ってくれた福島杏子先生。長い人生の中の高校3年間で、素敵な仲間と先生方に出会えたことは私たちにとって大きな財産です。この3年間のおかげでいいお嫁さんになること間違いなし☆大人になってもソフトバレーしようね！飲み行こうね！みんな大好き！3年間、ありがとうございました！！

(3-1 森山幸咲 イラスト/武田 悠)

3-2 軌跡



白井俊三先生
古川藤記先生

3年2組は男女関係なくクラスの目標を一緒に応援できるクラスだと思います。

例えば体育祭で2組は『全力で楽しむ』と目標を立てました。試合に出場している選手を応援していると次第に『全力で楽しむ』という目標に加えて、『総合優勝する！』ということもクラスの目標となり、見事に『総合優勝』『全力で楽しむ』という

両方の目標を達成することができました。

受験に関しては2組は特に大学、短期大学、専門学校、就職など進路がさまざまで受験の時期も違いました。一人一人が『合格』という目標に向かって努力するだけでなく受験がすでに終わった人たちは、まだ受験を終えていない人たちに全力で応援していました。

そしてクラスメイトだけでなく、行事から普段の勉強、受験の事まで手厚くサポートしてくださった白井俊三先生と古川藤記先生には本当にお世話になりました。

この1年間、コロナにより自身の生活や受験、将来までもが大きく変わってしまいました。そんな中、色々な目標を達成して成長することができました。これからは別々の道を歩むこととなりますが3年2組での思い出を忘れずお互いに頑張りましょう！

またいつか再会できるのを楽しみにしています。

(3-2 山内遥香 イラスト/伊藤侑希奈)

3-4 勇往邁進



牧平元康先生
加藤伝智先生

5月下旬、私たちの高校生活最後の1年が始まりました。新型コロナウイルスの影響で初日からクラス全員が集まらなかったのですが、6月に初めて教室にみんなが揃うことができ、個性豊かな3年4組は始動しました。この1年は例年通りとはいかないことの連続でした。

心なしか定期考査や模試に取り組む姿勢が疎かになりかけたこともあります。しかし、気づけば「最後」と名の付く行事が次々と終わり、いつしかクラスは受験モードになっていました。知らぬ間にみんなが互いに影響しあってスイッチが入ったのだと思います。放課には、クラスメイトに授業でわからなかったところを質問したり問題を出し合ったりする人も多くいました。仲間と共に目の前にそびえたつ壁を越えようとする、3年4組の誇れる強みです。

将来への不安と葛藤でいっぱいの人たちをいつも勇気づけ、励ましてくれた担任の加藤先生や副担任の牧平先生をはじめ多くの先生方。なにより、クラスメイトの温かい言葉が、日々まとわりつく悩みを払拭してくれたように思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業したら、私たちは将来の夢の実現のため別々の道を歩みます。数年後、数十年後に同窓会などでそれぞれの歩んだ道を語り合う、そんな光景を想像すると楽しみでなりません。またいつか一回りも二回りも成長して笑顔で再会しましょう！本当に1年ありがとうございました！！

(3-4 遠山翔大 イラスト/小池龍輝)

3-3 生徒がのびのびしてるクラスNo.1



成瀬拓哉先生
丸山敬彦先生

新型コロナウイルスの影響で例年より2カ月遅れで始まった南高校で過ごす最後の1年。皆さんの心には今「Health is wealth」「健康は財産だ。」という言葉が心に響くのではないのでしょうか。社会は目まぐるしく変化中、周りにいる仲間を大切にできる人が集まる変わらない場所がありました。それが個性溢れるメンバー37人がそろった3年3組です。私達は、生徒思いで楽しいことが大好きな担任の成瀬先生、意外にも生徒1人1人のことをしっかり見てくださっているのに「窓開けの翁」になってしまう副担任の丸山先生、先生方のおかげで高校生活最後の1年をのびのびと過ごすことができました。本当にありがとうございました。人生という長い期間で考えたらこのクラスで過ごした時間はほんのわずかですが、たくさんの思い出を作ることができました。やはり、このクラスでの1番の思い出は「体育祭での総合優勝」です。選手決めの段階から各種目で優勝できるようなチームを考え、練習し、本番ではW優勝という形ではありましたが目標を達成することができました。クラスが1つになっている時間が何よりも私は嬉しかったです。さて、桜の花が花開く季節になると今よりずっと広い世界での学びが始まります。先の見えない時代を生きる私達は、これから先、受験以上に困難なことに直面するかもしれません。しかし、どんな時でも立ち上がり、1歩ずつ前に進んでいきましょう！ありがとうございました！

(3-3 小清水結菜 イラスト/福野晴日)

3-5 感謝。



笹瀬貴司先生
本宮伸治先生

3年5組は教育コース1期生として3年間共に過ごしてきました。学校行事はもちろん、教育コースの活動を通して築いた信頼関係は簡単には崩れません。授業中や放課などいつでも笑い声が聞こえる楽しいクラスです。同じ夢を持っているクラスメイトといれた

からこそ共に楽しみ、励まし合い、分かち合えたことがありました。部活動で活躍した人、生徒会活動を頑張った人、ボランティア活動や応援団など5組の活躍の場は幅広く、誇り高いです。教育コースだからこそ様々な経験ができました。これらの活動は今後も発展しながら受け継いでほしいです。私たちはたくさんの人に支えられて活動することができました。照れ屋で長くは語らないけど、私たちを想ってくれている本宮先生、いつでも100%の笹瀬先生、その他たくさんの先生方、クラスみんなは感謝でいっぱいです。これからはそれぞれが色々な道に進みますが、高校3年間での経験を糧にどんな壁も乗り越えていきたいです。あつという間の高校生活でした。全員が笑顔で再会できることを楽しみにしています。ありがとうございました。

(3-5 夏目果奈 イラスト/田邊麻尋)

さん@るく



山田直史先生 伊藤悟良先生

3年6組は男子33人女子12人のみんながフレンドリーなクラスです。今年度は新型コロナウイルスの影響で4月と5月が休校となり、様々な行事が縮小され、文化祭での3年生の出し物もなくなりました。ですがそんな中でも文化祭の歌うま大会でクラスメイトが1位を取ったり、クラスマッチで総合3位と男子ソフトバレー1位については、日頃からみんなの仲が良く、5時間目にバレーの授業がある時には必ず、昼放課からバレーを楽しんでいたからこそその結果だと思います。

また、日常生活でも、クラスの雰囲気が悪くなりそうになるとムードを変えてくれる人や、常に明るくクラスを盛り上げてくれる人など、個性豊かな仲間たちのおかげで楽しく一年を過ごすことができました。

生徒思いで入試情報に詳しい山田直史先生、みんなの健康を気遣ってくれた副担任の伊藤悟良先生にもとても感謝しています。私たちはこれから別々の進路に進むこととなりますが、どの道に進んだとしても壁にぶつかることが出てくると思います。そんな時は、別の場所で頑張っている仲間たちの姿を思い浮かべ、自分の活力にしたいです。そしてまた、いつか同窓会で再会する時には今より成長した自分になっていたいと思っています。クラスのみんな、先生方、どうかお元気で。ありがとうございました。

(3-6 川上真愛 イラスト/小西萌々奈)

3-7



山本和彦先生

鈴木唯史先生

今年はコロナ禍で例年とは異なった生活から始まり、いつもよりクラスで過ごす時間は短かったですが、短いなりに充実した生活を送れました。しかし、クラスで力を合わせて取り組むことは少なく、特に文化祭で出し物ができなかったことが悔しかったです。

7組は早朝から勉強している人が多く、前向きな姿勢の人がたくさんいました。そのため、くじけそうになったときに頑張ろうとやる気を与えてくれるクラスでした。また、ポジティブな言葉で私たちの背中を押してくださる山本先生、正確で細かい情報をたくさん流して私たちのやる気を上げてくださる唯史先生にも支えられました。受験期に入るとクラスの空気はどこことなくビリついてきて、みんなの目もキリっとしてきました。今はつらくても振り返った時にきっと、この時間はとても大切なことに気づくと思います。その時のために、クラスで力を合わせて今を乗り越えたいと思います。

異例ばかりの年でしたが、無事に卒業を迎えることができ嬉しいです。これから先、たくさんつらいことが待っていると思います。しかし、withコロナの中、受験と戦った私たちは無敵だと信じています。先生を含め、クラスのみんなが笑い合っていることがなによりも幸せでした。夢に向かってそれぞれの道を歩むこととなりますが、また笑顔で会えることを願っています。今までありがとうございました。

(3-7 太田実幸 イラスト/谷口詩織)

推薦入試 合格体験記

Challenge

3-4 小池龍輝
愛知県立大学

僕が受けた推薦入試は一次試験が英語の筆記試験で二次試験が面接でした。出願資格は満たしていたものの、合格ラインがギリギリの出願だったので他の志願者に比べて僕は学力の面で圧倒的に劣っていました。なので最初はあまり勉強に身が入りませんでした。しかし試験の日が近づいてくるうちに、せっかく得られたチャンスを無駄にしたいくないという気持ちが強くなり、そこから僕は毎日一般受験の勉強を忘れずに、隙間時間を有効に活用して勉強しました。その結果、一次・二次試験を順調に通過することができました。

今まで何度も色々な先生方が言っていた「努力は報われる」という言葉の意味をこの合格までの道のりを通して初めて実感しました。これからも将来の夢の実現のために努力していきたいと思います。

そして最後に、大学受験には絶対不可能もありません。なので何事もすぐにあきらめないで、つかめるチャンスは必ずつかんでチャレンジすることが大切だと思いました。

日々精進

3-7 中山小百合
信州大学

私は、入学当初から希望の大学に入学する為に定期考査だけでなく、部活動やボランティア、郊外活動に力を入れてきました。

推薦入試では、学校の授業で選択科目ではない生物の筆記試験があり、さらには志望理由書や面接練習、一般入試の勉強をやる事が山程あり心が折れそうでした。自分の夢が分からなくなり、試験への不安から泣いてしまう日もありました。ですが、先生や家族、友達はずっと側で支えてくれました。始めは酷評ばかりだった面接も回数を重ねていくうちに自分の夢や動機を再認識するきっかけとなり自信に繋がりました。本番では、試験要項には無かった小論文が出たりと多少のハプニングはありましたが自分の思いを練習の時以上に伝えることが出来ました。

これからも入試の時の気持ちを忘れることなく自分が出来る最善の努力をして夢を叶えたいです。

留学生紹介



2-5 カルロス ケサダ

わたしのなまえはカルロスです。コスタリカしゅっしんです。わたしは18さいです。わたしはにほん

ごにほんのせいかつをまなびたいです。

My name is Carlos. I am from Costa Rica. I am 18 years old. I want to learn Japanese language and Japanese lifestyle.

図書館フェスティバル

図書研修部 丸山敬彦

12月23日(水)2学期終業式の日午後、そして今年は24日(木)・25日(金)の冬休み学習会後にも、第4回の「図書館フェスティバル」が本校図書館で開催されました。

新型コロナ感染拡大予防のため、今年は展示部門のみとしました。

どんな展示があったかというところ、写真部・文芸部・イラストアニメ同好会の作品、1・2年生美術選択者の授業作品、生徒会執行部の発表、生デ科2年生のイラスト、有志生徒の書道作品、修学旅行のしおり原画、伊藤先生制作の鉄道ジオラマ、先生方のお宝…。生徒から募集した「図書館川柳」と「本の紹介POP」の展示と人気投票も行いました。来場者にプレゼントしたしおりも大好評でした。



ERP成果発表会

3-5 教育コース 大羽 古都音

12月7、14日にERP成果発表会がありました。自分の興味分野について2年生から1年間かけて研究をし、当日はパワーポイントを用いて発表を行いました。

私は発展途上国の教育について研究したいと考えていたので、初等教育における非就学児率が最も高い南スーダン共和国に焦点を当てて「南スーダンの教育のために高校生ができること」というテーマで研究をしました。研究を進める際には、担当の先生とどのような方法で進めたらよいかなど話し合ったり、愛知教育大学の先生にもアドバイスをいただきました。

当日は愛知教育大学の先生や、2年生の生徒も発表を聞きに来てくれました。質問を多く受けることで、自分の発表に不足していた部分や新たな考えに気づくことができました。今回の研究で得た知識を大学入学後や社会で生かしていきたいです。



教育コース3年間のまとめ

3-5 教育コース 山本 あい花

私たち教育コース1期生は3年間でたくさんの活動を行ってきました。体験的な活動を中心に愛知教育大学の講義、東北スタディツアーや台湾修学旅行など「教育」について考える機会がありました。その中でさまざまな人との出会いが数多くあり、私たちの進路選択に大きな影響を与えてくれました。特に「小学校体験実習」は私の中で印象に残っています。実際に児童と触れ合うことで教職の魅力や、先生方の苦勞、そしてやりがいなどを肌で感じる事ができ、多くのことを学ぶことができました。これらの学びに加え、3年間一緒に過ごしてきた大切な仲間と共に励まし合い、切磋琢磨し、絆が深まりました。教育コースでの学びは本当に私たちの宝物です。

生活デザイン科卒業制作発表会

卒業制作発表会「作品展示」

3-1 鈴木 優麻

私は、卒業制作で“モラ”という技法を使ったタペストリーを制作しました。一からデザインを考え、様々な色の布を使い、自分の個性あふれる作品に仕上げることができました。作品展示では、3年間生活デザイン科で学んできた成果を最大限發揮し、38人それぞれの思いが詰まった作品を発表することができました。保護者や先生方、生徒など多くの方に作品を見ていただき、とても嬉しかったです。頑張ってきてよかったと思える卒業制作発表会となりました。

ビュッフェパーティ <ESPOIR>

3-1 千葉 李瑚

今年は、Lunch Boxという初の試みになりました。心が折れかけた時もありましたが、コロナ禍でもLunch Boxをさせて頂けることに感謝し、今の自分達にできることを考え、取り組んできました。フードコース20人で作り上げたLunch Boxは、2年間の成長と努力の詰まったものになりました。美味しいといって食べてくださり、本当にありがとうございました。RESTAURANT<ESPOIR>これにて閉店です。

ワークショップをとおして学んだこと

1-5 園田 英嗣

私たち教育コース1年生は、12月7日に愛知教育大学の大学院生とのワークショップを行いました。そこでは、大学院での研究内容をお聞きし、私たちのグループ探究へのアドバイスをいただきました。大学院生の皆さんのお話はとても分かりやすく、流石だと思いました。私のグループの探究テーマは「いじめ」ですが、問題点や改善策を具体的に教えていただき、また一つ前に進むことができました。このアドバイスを活かして、より深い探究、より良い発表ができるように頑張りたいと思います。



グループ探究で知った仲間の大切さ

1-5 山本 茉友

私たちは3ヶ月間、共通の興味・関心を持つグループに分かれ、探究活動を行いました。私たちのグループは「発達障がい者への差別と対策について」というテーマを取り上げました。初めは、一つの内容について深く掘り下げるといことや、アンケートやインタビューによる調査など、さまざまな「初めて」の中に飛び込んでいく不安がありました。そしていざ探究を始めてみると、やはり行動を起こしては壁にぶつかる日々の連続でしたが、その度に仲間と支え合いながら、同じゴールに向かい続けることができました。

教師目線での運動会

1-5 鈴木 梨花

私たち教育コース1年生は、11月13日、14日に富士見小学校で運動会体験活動を行いました。13日は全員参加で、運動場の整備や翌日の本番の流れを確認しました。14日は1・2年生の有志が、朝早くからテント設営や物品運搬などの準備や運動会の進行のお手伝いをしました。運動会を教師目線で体験してみて、楽しい行事の裏に先生方の努力と苦勞があったことに改めて気づきました。その一方で、子ども達の頑張る姿を間近で見て、「ありがとう」と言ってもらえたことがとても嬉しく、やりがいを感じました。



ファッションショー LAST QUARTER

3-1 岡野 未怜

全校生徒の前でショーをすることはできませんでしたが、仲間とともにその悔しさを乗り越え、無事成功させることができました。スタートが遅かったこともあり、制作の進みが遅く、本番まで不安な気持ちでいっぱいでしたが、みんなで励まし支え合いながら18人全員でステージに立つことができました。見に来てくださった方々にも3年間の成長を見せ、感謝を伝えることができました。笑顔でショーを終えることができ、最高の集大成となりました。



がんばってます！ 部活動紹介



バドミントン部

部長 2-6 松下喜洋

バドミントン部は、ほとんどの部員が高校からバドミントンを始めています。しかし、毎年ダブルスでは県大会に出場できています。「あっ、意外と簡単に出場できるんだ」と思ったかもしれません。しかし、全くそうではありません。大会では、経験者や次元が違うスマッシュを打ってくる私立の選手がいます。そんな人たちに勝たなければなりません。そのために、私たちは初心者なりに努力し、結果が残せるように日々の練習を頑張っています。これからも練習に励み、皆で県大会出場を目標に活動していきます。



イラストアニメ同好会

部長 2-1 岩井綺良

私たちイラストアニメ同好会は、和気あいあいと楽しく活動しています。主な活動としては、月ごとにテーマを決めてイラストを描いています。9月に行われる文化祭では、これまでに描いてきたイラストを冊子にし、来場者に配ります。12月の図書館フェスティバルでは、カラーイラストを展示しています。部員同士の仲が良く、和やかな雰囲気です。そのため、お互いにイラストを褒め合うことができるような優しい人が多いです。これからも皆さんの目に留まるようなイラストを描いていけるように頑張ります。



次号は、ハンドボール部と野球部を紹介します

部活動結果

「弓道部女子チームが東海高校選抜弓道大会に出場し、入賞。」

弓道部顧問 伊藤 悟良

令和2年11月21日に、蒲郡市民体育センター弓道場で行われた、第39回東海高等学校選抜弓道大会に、本校弓道部女子団体チームが出場しました。本校チームは、トーナメント初戦・2戦目を突破したものの、決勝戦で惜しくも敗れ、女子団体2位に入賞しました。



【運動部】

■ハンドボール

愛知県高等学校新人体育大会 東三河支部予選会

- ・男子
 - 1回戦 本校 17-20 豊橋工業
- ・女子
 - 2回 本校 17-12 蒲郡東
 - 準決勝 本校 23-21 豊橋西
 - 決勝 本校 19-36 豊橋商業

(1位豊橋商業、2位豊橋南となり、県大会進出)

愛知県高等学校新人体育大会

- ・女子
 - 1回戦 本校 12-15 一宮西

■バスケットボール

愛知県高等学校新人体育大会東三河支部予選会

- ・男子
 - 2回戦 本校 50-75 豊丘
 - ・女子
 - 1回戦 本校 55-33 豊橋東
 - 2回戦 本校 52-53 国府
- 順位決定戦 本校 55-54 新城有教館

■サッカー

愛知県高等学校新人体育大会東三河支部予選会

- 1回戦 本校 0-0 豊橋中央 (不戦勝)
- 2回戦 本校 1-4 小坂井

高円宮杯 JFA U-18 東三河地区リーグ

- 本校 0-1 時習館B
- 本校 2-2 蒲郡東
- 本校 4-1 新城有教館
- 本校 2-0 国府B
- 本校 2-0 豊橋西
- 本校 2-1 豊川工業B
- 本校 0-0 御津B

(コロナの影響による無効試合 引き分け扱い)

■バレーボール

東三河高校バレーボール選手権大会

- ・男子 本校 2-0 桜丘B
- 本校 0-2 豊橋中央
- ・女子 本校 2-0 小坂井
- 本校 0-2 豊丘

■弓道

高等学校選手権兼全国・東海高校弓道選抜大会県大会

- ・女子 団体県3位
- 選抜東海大会出場決定
- 宮原実優 當山ありさ 兒玉寧空

第39回東海高等学校弓道選抜大会

- ・女子 団体東海大会2位
- 宮原実優 當山ありさ 兒玉寧空

【文化部・同好会の活動】

■美術

高文連美術・工芸部門「東三河」支部展
油彩画F50号12点、F30号6点出品 豊橋市立美術館

■吹奏楽

愛知県高等学校東三河地区演奏会 出演

愛知県アンサンブルコンテスト

- 東三河地区大会
- フルート四重奏 金賞
- 金管八重奏 銀賞
- クラリネット三重奏 銀賞

【生活デザイン科の活動】

牛乳・乳製品利用料理コンクール

- 佳作 2年 岩井綺良
- 氏家菜名
- 高橋璃音
- 長濱まみ
- 3年 佐藤瑞希
- 仲谷春香

「ウナギの魚醤」の商品名等のアイデア応募

- 入選 2年 鈴木らび

第26回全国高校生クリエイティヴコンテスト

- 特別賞 3年 河合慶子
- 佳作 3年 鈴木優麻

学校賞

- 陸上競技部 川島実桜
- 2年連続全国高校総体入賞
- 全国陸上 4位
- セイコーグランプリ) 4位
- 日本選手権出場